

# 大阪労山の仲間たちの事故事例をまとめました

1冊 500円+送料、ぜひご購入下さい

大阪労山 理事長 高橋明代

編さん委員会委員長 中川和道

大阪労山の仲間たちの事故事例を1998～2020年にわたって、A4で137ページにまとめました。常任理事会と教育遭対部でつくった編さん委員会が作成し、2021年4月に発行しました。

1. 分析の要点は以下のとおりです。

- (1) 登山道での事故が多い、
- (2) 下山中の事故が多い、
- (3) 登山道下山中の事故は墜落や転落よりも その場での転倒が多い、
- (4) にもかかわらず骨折にまで至っている、
- (5) 登山道下山中の事故は14時頃集中的に起きており、これが全体の事故統計でも「魔の時刻は14時」に対応している可能性がある。
- (6) 道迷いの事故は2%しかない。連盟「山の教室」の読図チームの活躍や各会での読図公開ハイクなどの取組の成果だと思われる。

2. 各山岳会などで、ぜひ、勉強会を開いてください。講師も、いたします（中川和道 [climber-nak@bca.bai.ne.jp](mailto:climber-nak@bca.bai.ne.jp)）。

3. 1冊 500円。

- ・大阪府連盟事務所で労山カレンダー買取の要領で、氏名記入のうえ持ち帰り可。
- ・発送もできます。送料は1冊 310円、2冊 370円。ご希望の方は、  
郵便番号/住所/氏名/所属会/電話番号/冊数を記して  
高橋明代 [RXR00152@nifty.ne.jp](mailto:RXR00152@nifty.ne.jp) までお申し込みください。振替用紙を同封して発送します。できれば、各会でまとめて下さるとありがたいです。
- ・緊急事態宣言中（5/18現在）ですので発送は少し日にちをみてください

